



島根県内事業所で 実施されている 気候変動適応事例集

この事例集は、事業所において適応策※を進める対策の立案・推進する際の参考情報を提供するものです。

※適応策とは、「気候変動影響に対して、これによる被害の防止又は軽減その他生活の安定、社会もしくは経済の健全な発展又は自然環境の保全を図るための対策」です。

事例 1 事業所内での暑さ対策

分野	熱中症
概要	<p>例年5月1日から10月31日までをクールビズ期間としており、その間は室内空調の基本設定温度を28度と定めて、空調の乱用を避け、室内温度に適応できる服装等を心がけています。</p> <p>また、夏場炎天下で業務を行う資材等の部署では、定期的な水分補給・塩飴等の配布や、小型ファンの付いた作業着の着用等で、熱中症対策を行っております。</p>
事業者名	島根ナカバヤシ株式会社
連携相手	-
出典、参考URL	-



ちなみに、寒さ対策として、11月から翌年3月末まではウォームビズ期間としており、室内空調の暖房設定温度を20度として、暖房の乱用を避けて服装での温度調整を実施推奨しております。



事例 2 事業所内での暑さ及び集中豪雨対策

分野	集中豪雨及び熱中症
概要	<p>○集中豪雨対策 土嚢等防災用品の配備・災害時緊急連絡網、連絡ルールの整備を行いました。</p> <p>○熱中症対策 夏場のスポーツドリンク無料配布（1本/日）、サマータイム導入（▲15分/日）、OS-1（経口補水液）と塩飴の常備、塗装・溶接用冷感作業服の導入を行いました。</p>
事業者名	リョーノファクトリー株式会社
連携相手	ドリンク会社、作業服販売会社
出典、参考URL	https://www.ryono-f.co.jp/



事例3 水の枯渇リスクへの対応

分野	水資源
概要	<p>気候変動影響として、降水量の減少による水の枯渇リスクを想定しています。(株)出雲村田製作所では水の枯渇リスクへの対応として、水使用量削減の取り組みを継続的に実施しています。</p> <p>①節水真空ポンプへの更新 真空ポンプを冷却水を循環利用できるタイプへ更新することで、従来、真空ポンプの冷却水として利用していた水使用量を削減しました。</p> <p>②工場排水の循環利用 浄化処理後の工場排水を排水処理装置で使用する水として再利用することで従来、排水処理棟で消費していた水使用量をゼロにしました。</p>
事業者名	(株)出雲村田製作所
連携相手	
出典、参考URL	



事例 4 水害・土砂災害への対応

分野	集中豪雨
概要	<p>当社の立地は、三方を川に、もう一方は山に囲まれており、大雨が降り続いた場合には水害・土砂災害を受ける可能性があります。</p> <p>万一の際でもお客様への迷惑を最小限に抑えること、従業員を守ることが企業には求められます。</p> <p>ハード面では敷地内に防水壁の設置、護岸強化の為L型擁壁の設置などを行って災害対策を行っています。</p> <p>また、従業員に対しては災害発生時の安否状況や、家屋の被災状況の確認が速やかに行えるように安否確認システムを整備しました。</p> <p>今後は会社周辺の状況が判る様に河川水位を監視するカメラを導入し、初動対応のスピードアップと従業員の避難判断を早く行えるような体制を築いていきたいと考えています。</p> <p>一方で雲南市と協定を結び、有事の際は地域住民の方の避難所として施設提供をすることにしています。従業員はもちろん地域の方々のためにも、災害に適応した会社作りを今後も行っていきます。</p>
事業者名	島根イーグル株式会社
連携相手	避難所の件：雲南市
出典、参考URL	



事例5

水害時の車両の一時避難についての取り組み

分野	集中豪雨
概要	<p>弊社の立地場所（松江市東本町5丁目）は近接地域の中でも最も地盤の低い場所に当たり、たびたび膝下までの水害にあっています。水害のたびに自社車両とお客様の車両を水から退避する必要に迫られています。また、近年の集中豪雨が多発する状況において、事前に行動計画を立てておく必要があると考えるようになりました。</p> <p>2021年、町内の「edion(エディオン)松江店」と協定を結び、予報等により水害の恐れがある場合は、「edion松江店」の立体駐車場の屋上に弊社とお客様の車両を一時退避させていただけるようになりました。これによって、慌てることなく行動が起こせるようになりました。</p>
事業者名	有限会社 森脇モータース
連携相手	edion（エディオン）松江店
出典、参考URL	

